

# サロン活動の継続を!

ご近所同士のコミュニケーションの場として、「気軽に」「無理なく」「楽しく」「自由に」過ごすことを目的に、玖珠地区で活動している【いきいきサロン】23団体のうち16団体の役員さんが参加して、サロンの活動状況や意見・要望を聞く「意見交換会」を2月15日に開催しました。

金藤健康福祉部会会長より、「玖珠地区にあるいきいきサロンを地域活性化の原動力にしたい。」とあいさつ。

意見交換会では、各サロンから「男性の参加が少ない」「遠方での活動の際の交通手段や祝日研修時の福祉バスの利用拡大」「サロン間同士の横のつながりも強化していきたい」など貴重な意見をいただきました。

これからも地域のニーズや特徴を考慮して、自分たちが出来ることを必要としている人に、常日頃からのつながりを持つことにより緊急災害時などの対応にもつながるようサロンの推進・充実を図っていきます。



玖珠地区コミュニティ運営協議会では、3年前の熊本・大分地震や一昨年の九州北部豪雨災害等の発生に備え、被災者への適切な支援や効率的な支援の方法を学び、災害に対する知識や技能の向上を図るための各種研修会に参加しています。

今回は講師に石井布紀子さんを招き避難所・福祉避難所と災害ボランティアセンターの連携についての研修でした。当日はあいにくの大雪で参加者の方も大変でした。それでも百人程の参加があり、最後まで熱心に研修が行われました。

## 『災害時の知識や支援の必要性』を痛感 「玖珠郡災害ボランティアネットワーク協議会」第2回研修会に参加して

の適切な支援やボランティア活動への効率的な支援を学び、災害に対する知識や技能の向上を図るものでした。「総務・情報広報班」「ボランティア活動調整班」「ニーズ・地域支援班」「施設管理・衛生班」「物資・食料班」「要支援者班」等の各班に分かれそれぞれの問題点を学びました。途中で物資・食料班の方々で作った蒸しパンやじゃがりこのサラダを食べました。またキッチンペーパーと輪ゴムでマスクを作ったり段ボールベッドや簡易トイレの説明を受け災害時に役に立つ知識を身につけました。帰り道は雪も積もっていましたが多くを学んだ一日でした。

災害はいつ起きるかわかりませんがもしも時の準備、対策を考えておきましょう。

## くすふれあいホール図書館 ～今月の新刊紹介～



図書館の貸出しを希望の方は事務室に声をかけて下さい。  
※夜間・土・日・祝日の貸出しは出来ません。

## かわいい鬼たちがくすまき

2月1日、くすのきこども園児の皆さんが、玖珠自治会館に豆まきに来てくれました。



福がやってきましたように!